

ラボラトリーズ

# 学生×農業従事者

# ×クリエイターの アレコレトーク

# プレ企画

ノーギョ・ギョギョ・ギョギョーラボラトリーズ

7/26 **金** 〈場所〉KITANOMAD  
兵庫県神戸市中央区山本通1丁目7-15  
18:00～20:30

〈問い合わせ・申し込み〉TEL0789840380 メールkobe-nisangaroku@office.city.kobe.lg.jp(農水産課) 〈主催〉神戸市  
〈形態〉ワンドリンク制(学生300円、社会人600円)

## 第1部 農業にクリエイティブって必要?

農業とクリエイターの仕事で、生産物のパッケージデザインや店舗設計など目に見えるもののデザインはよく目にするものの、未だにデザインの効果や必要性などがわかりにくい実情があります。近年では、農業のシステムや企画など、可視化されにくい「コト」のデザインも増えてきています。果たして農業にクリエイティブな視点は必要なのか、議論していきます。



黒越啓太  
(建築家/graf所属)

濱章浩  
(グラフィックデザイナー/  
神戸デザインセンター代表)

山田隆大  
(神戸市役所農政課 課長)

竹下友里絵  
(タペモノガタリ株式会社代表/  
神戸大学農学部 学生)

## 第2部 「はじめること」と「続けること」

神戸市は農業従事者が多く、たくさんの生産物があります。農地の後継問題、新規就農者の低下、種子法の問題、農地放棄地の増大…など様々な問題がある中で、新しい視点や従来の農業方法に捉われない快活なアクションをしていく生産者や関係者が増えています。トライしていく意義、継承していくことの価値を議論していきます。



小泉寛明  
(Farmetand 運営/  
神戸R不動産 代表)

久洋平  
(農家)

井上小矢香  
(神戸芸術工科大学 助手)

片野絢子  
(NPO法人 食と農の研究所/ 研究員)

ファシリテーター: 平野拓也(デザイナー/神戸市クリエイティブディレクター)